

# 2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

2019年8月7日

共同印刷株式会社  
(証券コード：7914)

2020年3月期 第1四半期 業績概要	3
営業利益の増減分析	4
セグメント別 売上高・利益	5
セグメント別 業績概要	6-8
連結貸借対照表	9
連結キャッシュ・フロー計算書	10
2020年3月期 通期業績予想	11
■ 参考資料：2019年3月期～2021年3月期 中期経営計画について	
概要	13
経営目標数値	14
設備投資・減価償却費	15

(単位：百万円)

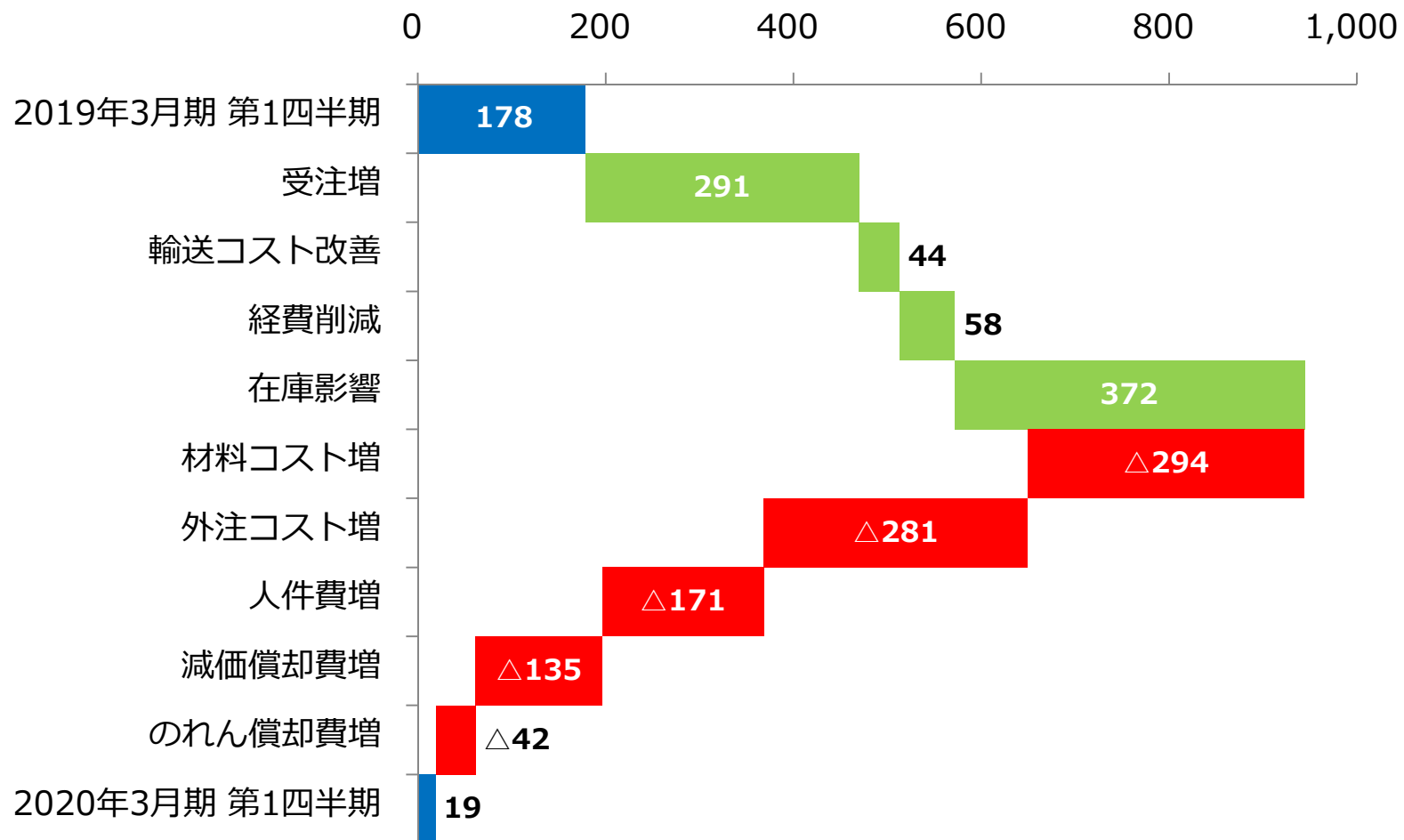
	2019年3月期 第1四半期実績	2020年3月期 第1四半期実績	前年同期比
売上高	23,066	23,718	+2.8%
営業利益	178	19	△89.3%
経常利益	514	325	△36.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	58	243	+315.8%

## 業績のポイント

- ① 共同日本写真印刷(株)の連結子会社化およびチューブの受注増により売上高が増加。
- ② 成長に向けた設備投資およびM & A、人材確保に向けた費用などの先行コストが増加したため利益が減少したが、成長分野での売上拡大と生産効率向上への取り組みにより、第2四半期以降の業績回復をめざす。

# 営業利益の増減分析

(単位：百万円)



# セグメント別 売上高・利益

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高 ※1	23,066	23,718	+2.8%
情報コミュニケーション	8,366	8,603	+2.8%
情報セキュリティ	7,941	7,976	+0.4%
生活・産業資材	6,283	6,464	+2.9%
その他	475	674	+41.9%
セグメント利益	178	19	△89.3%
情報コミュニケーション	△472	△391	-
情報セキュリティ	419	385	△8.1%
生活・産業資材	163	△64	-
その他	44	40	△8.7%
調整額 ※2	23	49	-
経常利益	514	325	△36.7%

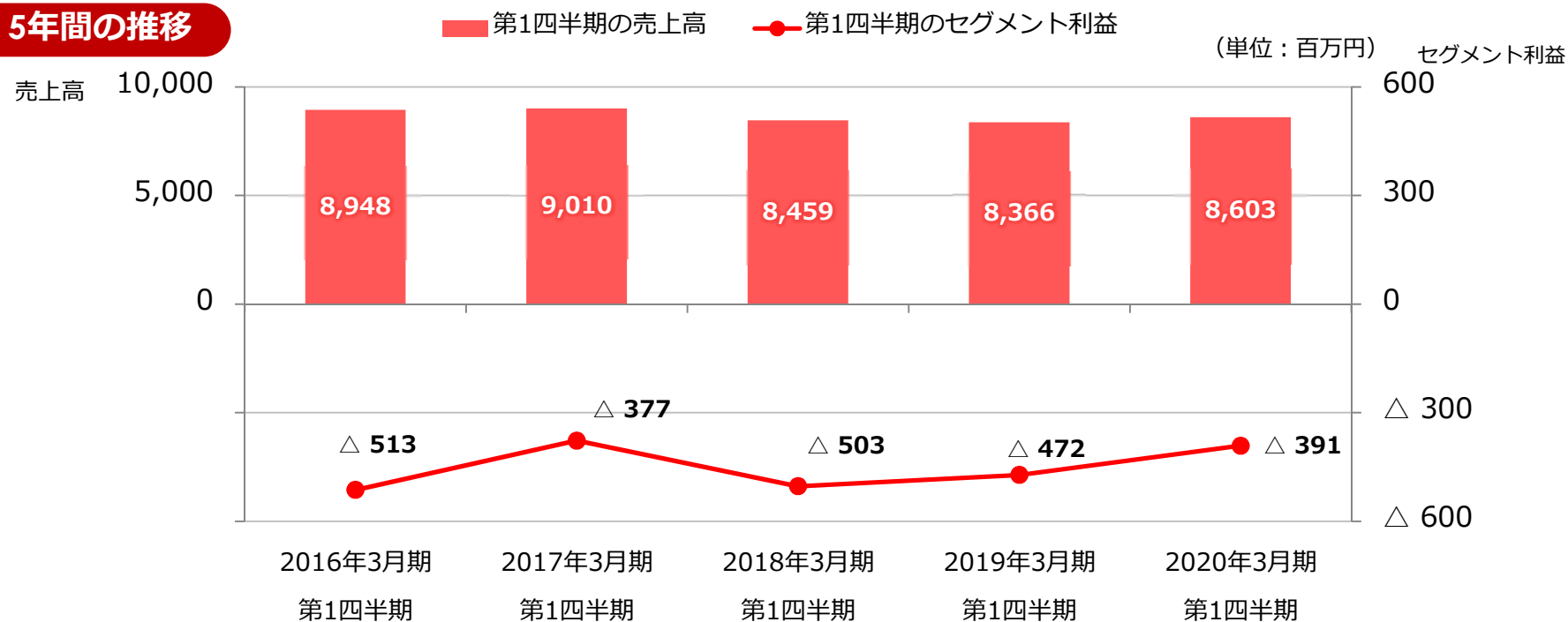
※1 セグメント別売上高は、外部顧客に対するものです。

※2 「調整額」は全社費用です。

## 業績のポイント

- ・ 共同日本写真印刷(株)の子会社化により売上高増加。
- ・ 販促ソリューションの強化等によるプロモーション分野の拡大により黒字化をめざす。

## 5年間の推移

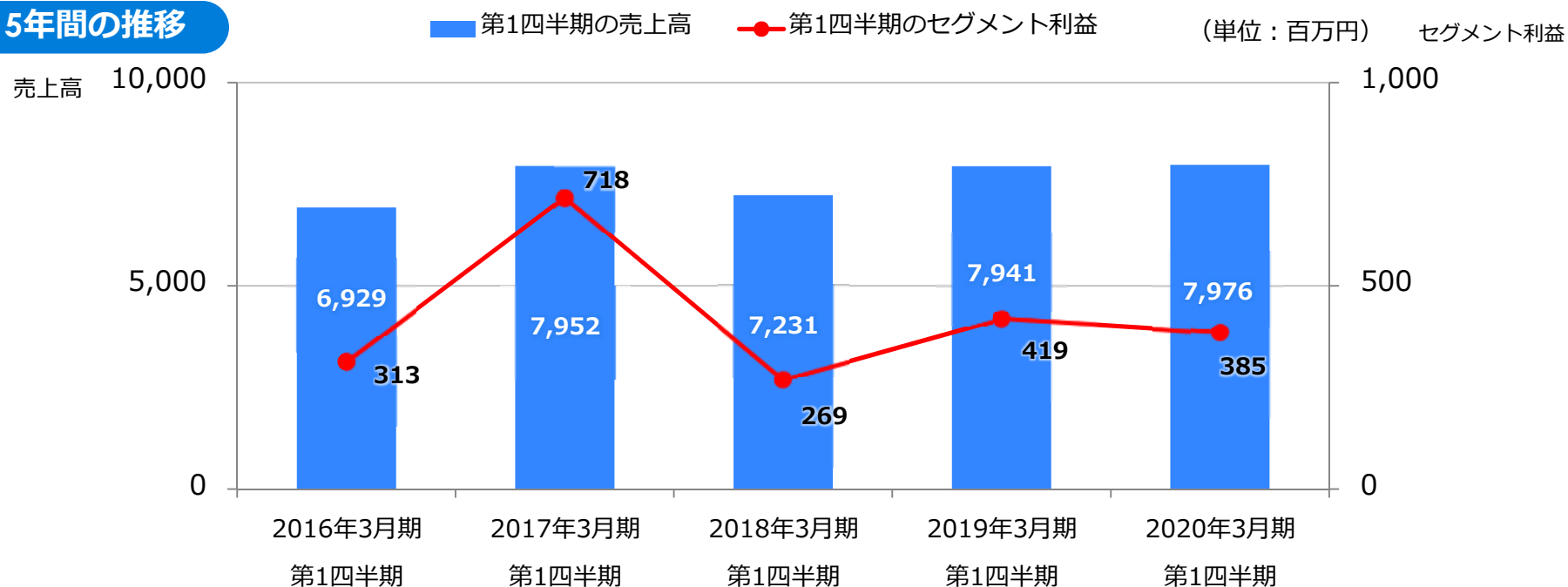


# セグメント別業績【情報セキュリティ】

## 業績のポイント

- ・ B P Oおよびデータプリントの受注増、証券類も堅調に推移。
- ・ 医療・ヘルスケア分野における B P Oの提案活動推進により、伸長を図る。

## 5年間の推移

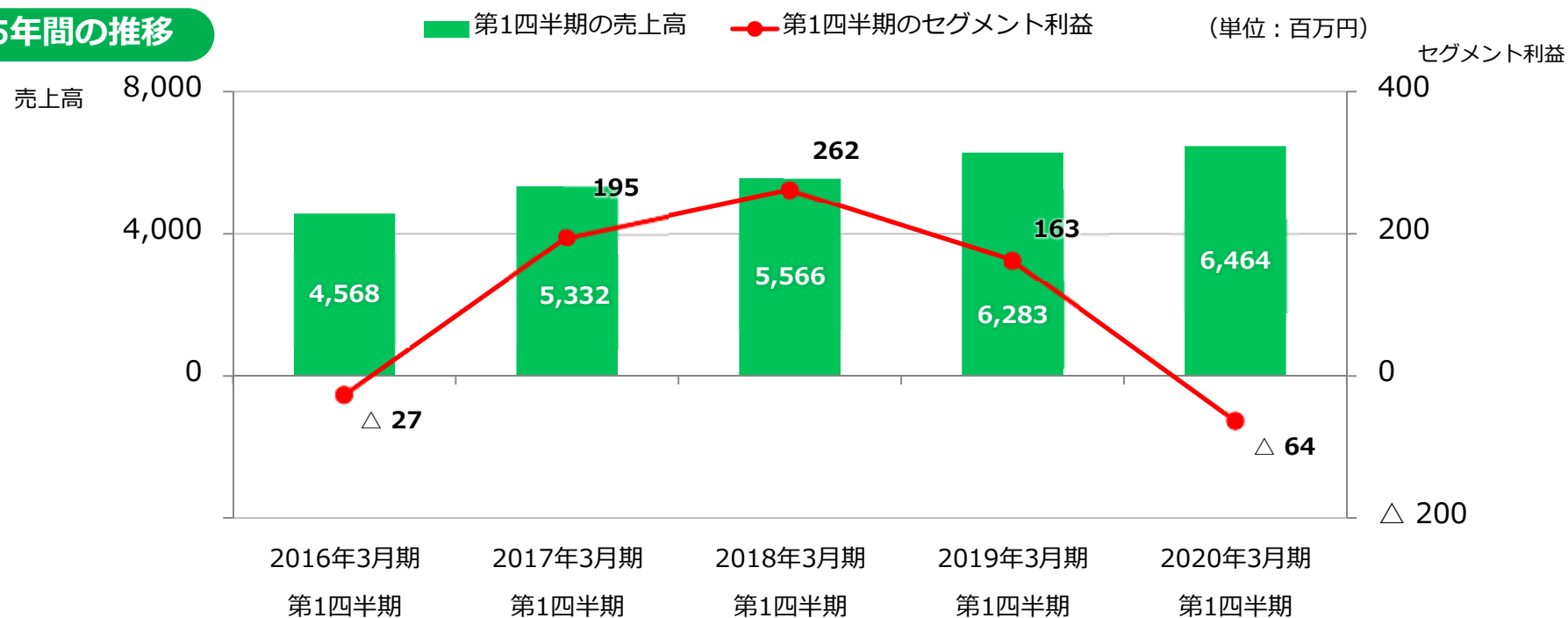


# セグメント別業績【生活・産業資材】

## 業績のポイント

- ・ チューブおよび軟包装の受注増により売上高が増加するも、事業拡大に向けた先行投資もあり、第1四半期はセグメント損失に。
- ・ 引き続き生産効率向上に取り組み、利益拡大をめざす。

## 5年間の推移





# 連結貸借対照表

- ・ 売上債権の減少等により、流動資産は前期末比666百万円減少。
- ・ 固定資産解体費用引当金の戻入等により、負債合計は前期末比628百万円減少。(単位：百万円)

	2019年3月期末	2020年3月期 第1四半期末	前期末差額	増減率
流動資産	47,859	47,192	△666	△1.4%
固定資産	77,531	76,936	△595	△0.8%
資産合計	125,390	124,128	△1,261	△1.0%
流動負債	35,163	34,765	△397	△1.1%
固定負債	26,842	26,611	△231	△0.9%
負債合計	62,005	61,376	△628	△1.0%
純資産合計	63,384	62,752	△632	△1.0%
負債純資産合計	125,390	124,128	△1,261	△1.0%
自己資本比率	50.5%	50.6%	—	+0.1P

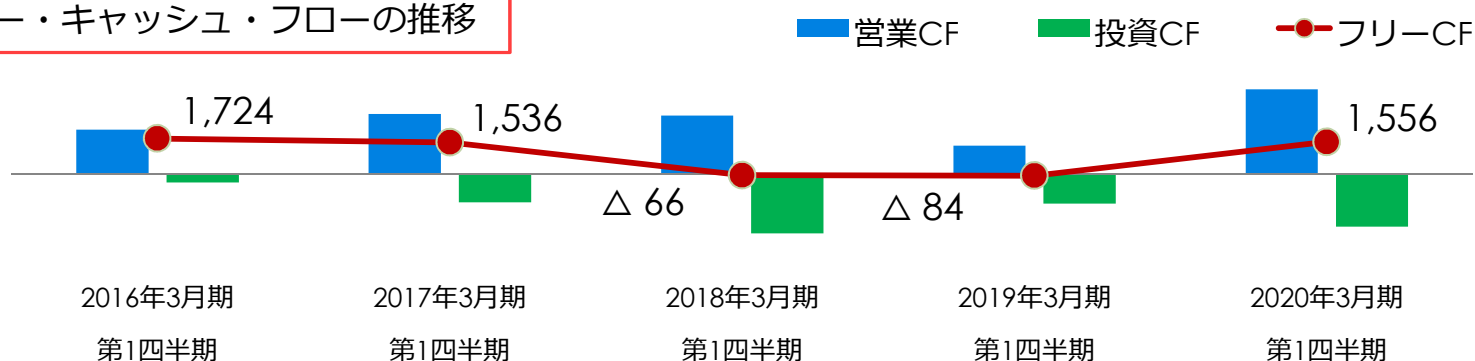
# 連結キャッシュ・フロー計算書

営業CF：法人税等の支払額の減少  
 投資CF：固定資産の取得による支出の増加  
 財務CF：自己株式の取得による支出の増加

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,369	4,122	2,752
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,453	△2,566	△1,112
フリー・キャッシュ・フロー	△84	1,556	1,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△492	△800	△307
現金及び現金同等物の期首残高	14,606	10,432	△4,174
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,967	11,242	△2,724
<b>EBITDA</b>	<b>1,541</b>	<b>1,565</b>	<b>24</b>

## フリー・キャッシュ・フローの推移



# 2020年3月期 通期業績予想

・ 2019年5月15日の発表数値から変更なし。

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前期比
売上高	97,782	104,000	+ 6.4%
情報コミュニケーション	39,168	42,000	+ 7.2%
情報セキュリティ	31,165	31,500	+ 1.1%
生活・産業資材	25,270	28,000	+ 10.8%
その他	2,178	2,500	+ 14.8%
営業利益	1,027	1,700	+ 65.5%
情報コミュニケーション	△828	100	—
情報セキュリティ	1,412	1,400	△0.8%
生活・産業資材	208	500	+ 140.4%
その他	369	△300	—
経常利益	1,748	2,400	+ 37.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,105	1,600	+ 44.8%
年間配当金（1株あたり）	100円	100円	—

参考資料：2019年3月期～2021年3月期  
中期経営計画について

事業別施策	情報系事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルコンテンツの受注拡大。</li> <li>・ デジタル領域を中心とする販促支援ソリューションおよび業務支援ソリューションの拡大。</li> <li>・ 川島ソリューションセンターの高いセキュリティ環境を生かした医療・ヘルスケア分野におけるBPOの受注拡大。</li> </ul>
	生活・産業資材系事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軟包装専用棟の機能を生かしたリキッドパッケージを中心とする軟包装事業の拡大。</li> <li>・ 日本国内および東南アジア市場での拡販によるチューブ事業の拡大。</li> <li>・ 高機能フィルムの機能と用途の拡大および新規市場開拓による医薬・産業資材事業の拡大。</li> </ul>
構造改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印刷市場規模の変化に合わせた柔軟な営業・製造体制の構築。</li> <li>・ AI、IoT等の新しい技術を活用した効率性および生産性の向上。</li> </ul>	
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働き方改革の実行と人材育成プランの充実。</li> </ul>	
企業価値向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ROE、EBITDAの向上をめざし積極的かつ効率的な投資を実行。</li> <li>・ 配当性向30%以上を目標とするほか、状況に応じた自社株買いを検討。</li> </ul>	

# 参考資料) 経営目標数値

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	2021年3月期 計画
売上高	977億円	1,040億円	1,080億円
情報系事業	703億円	735億円	750億円
生活・産業資材系事業	252億円	280億円	300億円
その他	21億円	25億円	30億円
営業利益	10億円	17億円	35億円
情報系事業	5億円	15億円	19億円
生活・産業資材系事業	2億円	5億円	12億円
その他	3億円	△3億円	4億円
経常利益	17億円	24億円	42億円
ROE	1.7%	2.2%	5.0%
EBITDA	66億円	82億円	100億円

※EBITDA = 営業利益 + 受取利息・配当金 + 減価償却費 + のれん償却費で計算

※2018年5月に公表した当中期経営計画については、情報系事業における紙媒体需要縮小に対して生産体制の再構築が遅れていること、また2018年から取り組んでいる守谷第一工場の軟包装専用棟の立ち上げおよび紙器事業の再構築の進捗に遅れがあることから、2019年5月に業績予想の修正を発表しております。

# 参考資料) 設備投資・減価償却費

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	2021年3月期 計画	3カ年合計
情報系事業	2,375	2,375	2,550	7,300
生活・産業資材系事業	9,495	5,055	1,650	16,200
その他	2,768	1,930	800	5,500
グループ全体	14,639	9,360	5,000	29,000
上段：設備投資額 下段：減価償却費	5,028	5,800	6,200	

## 2020年3月期以降の主な設備投資

生活) 和歌山工場 3号館増設/生産設備増設 (約25億円) ※2019年1月着工  
 生活) ジャカルタ工場新設/生産設備増設 (約6億円) ※2019年4月着工  
 情コミュ) デジタル印刷~加工ライン導入 (約3億円)

当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績見通し等は、作成時点において当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績見通し等とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- ・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・掲載内容については細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

(お問い合わせ先)

〒112-8501 東京都文京区小石川4丁目14番12号

連絡先:共同印刷株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL:03-3817-2071(9:30~17:30、土日・祝日を除く)

E-mail : koho@kyodoprinting.co.jp

H P : <https://www.kyodoprinting.co.jp/>